

インフラ再生にも今後注力

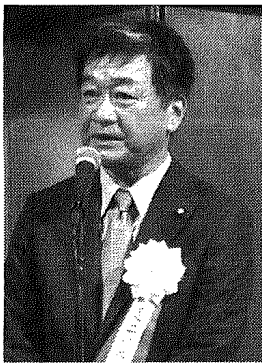
足立としゆきを励ます会発行

投資回避こそ後世へのツケ回し

参議院議員「足立としゆきを励ます会」が29日、東京・千代田区のホテルクランドパレスで開かれ、自民党幹部や建設業界から足立議員の支持者など約1000人が、会場に詰めかけた。開会に当たり、「足立としゆきを後援する会」の会長を務める陣内孝雄元参議院議員は、足立議員の初当選から2年にわたる現場主義を徹底した活動に触れ、平日は政務、土日は被災現

場などを訪れ、「獅子奮迅の活躍をされている」と評価した。足立議員が所属する宏池会からは、会長の岸田文雄自民党政務調査会長、名誉会長の古賀誠元参議院議員が挨拶。岸田政調会長は、被災した現場を必ず訪れる多くの声に耳を傾ける「徹底した現場主義が、足立先生の凄味」と評価した。

古賀名誉会長は、自然災害が激甚化する中で、防災対応の考え方を大きく転換する時代に来ていると指摘した。その対応のために、法の枠組みに無いもの



参議院議員「足立としゆきを励ます会」の陣内孝雄元参議院議員が、足立議員の初当選から2年にわたる現場主義を徹底した活動に触れ、平日は政務、土日は被災現場などを訪れ、「獅子奮迅の活躍をされている」と評価した。

を政治主導で変えていくことが「足立先生に期待するところ」と述べ、その実現には同志が必要であることを強調。建設業からの同じ職域代表、佐藤信秋議員との頑張りに期待を示した。

来年の参院選を控えている佐藤信秋参議院議員は、国土強靱化とともに、「給与」が良い、「休暇」が取れる、「希望」が持てるという「新3K」に、建設産業を甦らせたい思いを強調。そのために「足立としゆき・佐藤信秋、一緒に頑張って、しっかりと汗をかいていく」と決意を語った。

このほか、脇雅史元参議院議員、宮沢洋一自民党税制調査会長、谷公一東日本大震災復興特別委員会委員長が挨拶した。

業界側からは、日本建設業連合会の山内隆司会長が代表して挨拶。公共

投資削減を求める声に対し、足立議員が国会の場で「投資をしないことこそが、後世へのツケ回しになる」と主張したことを高く評価した。建設業界の思いを代弁する足立議員を「全力で支援」する考えも強調した。

こうした声を受けて足立議員が挨拶。これまでの公共事業の「量や質の確保」「建設産業の再生」といった活動テーマに、もう1つの柱として「インフラ再生」も加え、その必要性を訴えていくことを表明した。このため、公共投資を削減すべきという声に対しては、「いま高速道路に投資をしないと、将来、我々の孫子が、その効果を享受できない。防災のための投資をいま、行わないことも、後世へのツケ回しだ」と主張、インフラ再生などをしっかりと進める考えを強調した。

強調した。